



2012年9月報

Vol.443

9月1日発行

主 題	2012 - 2013 年度 クラブ・部・区・アジア地域・国際
ク ラ ブ 主 題	会長 宮本桂子「ワイズライフを楽しもう！」 “ Let's Enjoy the Y's Life ”
阪 和 部 主 題	部長 正野忠之「元気に みんなで」 スローガン「10年後の阪和部へ、つながる」
西 日 本 区 主 題	理事 成瀬晃三 “ Let's Y'smen Light Shine before Others In the club, in the community, in the world”
スローガン	“ 先頭に立ってワイズの光を輝かそう クラブで、地域で、国際社会で ” “ Devote Yourself to Y'sdom and Get More Satisfaction!” “ ワイズメンの満足度向上を真摯に取り組もう”
アジア地域主題	地域会長 Oliver Wu (台湾) “ Years bring wisdom ” 「歳月は Y's をワイズ(賢者)にする」
スローガン	“ Action vitalize life with strength ” 「行動が活力を呼び覚ます」
国 際 主 題	国際会長 Philip Mathai (インド) “ Be the light of the world ” 「世を照らす光となろう」
スローガン	“ Share your blessings in love ” 「恵みを愛もて分かち合う」

「よりよきクラブライフのために」

丸尾 欽造



5年前のクラブ一泊研修会で「よりよきワイズライフのために」をテーマに仲間と熱い思いをたぎらせたことを想い起す。その中でプログラムの一つとして『河内クラブの実情をどのように捉えていますか』についてアンケートに向かい合っていた。

「良いリーダーがクラブ運営を始めるまでのプロセス」についての項では、『歴史の一時期を、責任をもって預かると言う意識が明確であるか』、『自分の考えをクラブ会員に述べ、方針を明らかにして了解を求めているか』、『メンバーについてよく知り尽くしているか』など8項目でミッションと対峙した。「良いクラブの特徴」では、『クラブライフを楽しんでいるか。善意が生きているか』、『個人としてもクラブとしても成長している実感があるか』など17項目で充実度をチェックした。「良いクラブの会議」の中では、『民主主義が根付いているか』、『相手の話を終わりまでよく聴いているか』、『広い視野で考えているか(あるいは本質中心主義)』、『少数派も気兼ねしたり、摩擦を避けるために安易に問題を処理しないか』、『発言の質は高いか』など17項目で問いかけた。

結果として『普通である』とする評価が全体を通して多くを占めていたが、優劣を見極めるクラブ会員の洞察力、率直性、冷静さを確信できたことを今も覚えている。

30代半ばでワイズメンとなり、遠くまでやって来た今、自己への設問は追加されそうだ。『心身の健康管理に努めているか』、『スマートに老境を奉仕しているか』と。

【今月の聖句】 ローマ信徒への手紙 15章1節~2節

「強い者は、強くない者の弱さを担うべきであり、自分の満足を求めるべきではありません。おのおの善をおこなって隣人を喜ばせ、互いの向上に努めるべきです。」



先頭に立って引っぱって行くよりも、目標に向かって共に歩む、それが真のリーダーシップです

【9月例会プログラムご案内】

日時：9月20日(日) 18:30~20:30

会場：サンホーム6階

強調月間 “Menettes”

司 会 : 正野忠之 君

開会点鐘 : 会長・宮本桂子さん

ワイズソング : 一 同

聖句朗読 : 大谷美佐子さん

ゲスト・ビジターご紹介 司会者

会長の時間 : 会長・宮本桂子さん

食前感謝 : 岩坂正雄 君

『EMC自己診断プログラムにそって』

発題・大谷美佐子さん

インフォメーション : 当該者

誕生・結婚記念日お祝い: 会長・宮本桂子さん

にこにこアワー 藤井さん&大藪さん

YMCAの歌 一 同

閉会点鐘: 副会長・畠平剛志 君

8 月 例 会 報 告

恒 例 の 納 涼 例 会

報告：正野忠之

日 時：2012年8月26日(日)15:00~18:00
 会 場：大阪東YMCA サンホーム 6階
 出席者：メン・伊藤圭介、加藤寿枝、佐古至弘、正野忠之、新本英二、田中惟介、中野義彦、畠平剛志、藤井敬子、丸尾欽造、宮本桂子、望月 強、
 メネット・伊藤玲子、大藪暢子、正野佐貴子、新本力子、中野涌子、初田真佐子、丸尾初子、望月治子、宮本善之
 ビジター・エル・アパニコ ダンススタジオからマヤさんと5名の方、尾北 昇館長、和田林杉枝、小川和恵。

以上30名

エル・アパニコのみなさんによるフラメンコ



河内クラブの納涼例会は、8月の最終日曜日に開催されるのが毎年の恒例です。今年も同じく最終日曜日、8月26日に開催されました。午後3時、第一部が開会。田中ワイズの司会で開会されたのですが、何とフラメンコダンサーによる踊りによって会は始まりました。

フラメンコスタジオ「エル・アパニコ」のみなさんです。特別に設けられたステージに4人のダンサーが揃い、華麗なる舞が繰り広げました。調和のとれたタップ音が力強く響き渡ります。全部で5曲、観衆である私たちは圧倒されながら酔いしれたのではないのでしょうか。

司会が佐古ワイズに代わり、ここからは通常の例会間です。宮本会長の開会点鐘、会長の時間、結婚・誕生祝い等の時間が設けられました。



サンホーム食生活創造室主任・堂元隆子さんとその作品



第二部は食事、歓談とオークション。今年もまた、

サンホームの食事を担当されている食生活創造室に豪華な料理を作っていただきました。ビュッフェ形式のメニューは盛りたくさん。どれも見た目がキレイで味は満点。デザートも豊富で、文字にするまでもなく、おいしくいただきました。堂本さんとスタッフのみなさん、ありがとうございました。お腹がふくらんだところでオークションの始まり。



マイケル・ジャクソンやスティーブ・ジョブスの顔が入ったアメリカ合衆国発行のFederal Reserve Note (1ドル紙幣) が「オークション物語」のトップを切ってかけられた。今後はレアものとしての価値が期待されるが10数ドルで落札された。

畠平副会長がオークショニア。今回は3つの企画でオークションが開かれました。

ひとつは無人オークション。500円のお楽しみ袋が祭りのやぐらに似せたところに置かれ、無人販売されました。あっという間に完売。

あちこちから集められた廃材で組み立てられた屋台



では、北九州北部豪雨による災害への緊急支援募金への一助として「無人販売所」と銘打って中身が分からない福袋形式キャンペーン活動が展開されました。

もうひとつは、献品された品物に提供者の思いをストーリーとして加えオークションする方法。これまでと違った付加価値を生み出したのではないかと思います。最後の品物がオークションにかけられ、河内クラブの納涼例会は終了しました。



周りに遠慮もなくせりあがってゆく。久々に見るオークションの醍醐味だったと言えよう

阪和部のクラブで、納涼例会をいつもの例会場所で行っているのは我がクラブのみだということを見なさんではご存じでしょうか。どこのクラブも自力での開催をやめ、居酒屋などの飲食店で開催しています。気分を変えるにはいいのかもしれませんが、それだけクラブパワーが落ちていると言えなくもないと思います。今年は

他クラブからのビジターやリーダー、スタッフの参加がなく、河内だけの納涼例会となりました。マンパワーには欠けるかも知れませんが、夏の終わりをクラブの人たちだけで楽しめたのは、まさに会長主題の「絆を深めよう」とも一致し、良かったと私は思いました。



和田林さん(元メネット・右端)も久しぶりにご出席下さってお元気なお顔をみせてくださいました。



ビールなどのアルコールは宮本会長のご提供、皆さんで乾杯をいたしました。

クリスマス例会のお知らせ

まだまだ暑いさなかで 恐縮ですが 今年のクリスマス例会は ちょっぴりアダルトで豪華な気分を 味わって頂こうと ザ・リッツ・カールトンHでディナーをいただきながら開きたいと 企画しました。

日時：12月16日(日) 19:00~21:00

会費：メンバー・ビジター共 ¥12,000-

予約の都合上 9月の例会までに 仮ご登録をお願いします。

クリスマス例会実行委員長 田中惟介

第2回クラブメネット会のご案内

9月20日(木)例会前の時間(17:00~18:00)に開催いたします。本年から「千羽鶴」を長崎に贈ることになりましたので折り紙をお持ちの方はご持参ください。

息子にすばらしい体験をさせていただいた サンシャインキャンプ

復興支援プログラムに参加された
4歳児のお母さんからの感想メール

東YMCA復興支援プログラム(サンシャインキャンプ)参加者の保護者からの感想メールです。私たちの働き(人を育む、重荷を背負っている人に寄り添う等)に大きな自信と勇気を与えてくれるものでした。ワイズのみなさんにも是非とも知っていただきたくて。(東YMCA所長 重信直人)

この度、サンシャインキャンプ(大阪東YMCAのサマーデイキャンプ)に参加させていただき、明暁の母(明希子)です。息子に素晴らしい体験をさせていただけましたこと、本当にありがとうございます。遅くなってしまいましたが、感想文を送りたいと思います。

また、最終日にお迎えで途中下車をさせていただきましてバタバタして写真の申し込みが出来なかったのですが、今からでも申し込みは可能でしょうか? よろしく願いいたします。

初日、生まれて初めて親と別行動、全く知らない初対面の方たちばかりの中でデイキャンプ自体に参加することを息子は躊躇していました。「遠足に行くんだよ」とか電車好きの息子に「ケーブルカーに乗れるよ!」など、半ば強引に参加することを納得させた感じで、初めは息もドキドキしていたと思います。それが、初日のお迎えの時には、まるで別人のように、目をキラキラ輝かせて、ニコニコ笑顔で、これまでの人生でこんな楽しい思いをしたことがない!(4年数ヶ月の人生経験ですが~)と言わんばかりの報告をしてくれたことに、まず驚きました。

初日はあいにくの豪雨予報のため、ケーブルカー(男山)には乗れず、東YMCAの屋内での活動だったようですが、ペットボトルの風鈴を作ったり、水鉄砲を作った水遊びをさせていただいたり、と、屋内でも存分に楽しめたようで、嬉々として夜寝る時に、延々とその日の活動報告をしてくれました。

同年代のお友達やゆずリーダーさんともすぐに打ち解けることができたようで、本当に楽しかったようです。

2日目の朝からは、「YMCAのキャンプに遅れちゃうよ!」と一声かけるだけで、飛び起きてさっさと朝の支度をして、行く気満々!、初日とは大違いでした。たった1日参加させていただいて、あれほど消極的だった息子がこんなにも積極的になれるのかしら?!ととても驚きましたし、本当に楽しい思いをさせていただいて、親としても大変嬉しく思いました。

2日目は、手作りのうどんを作った事がとても興味深かったようで、特にうどん生地を足で踏んでこねた事が4歳時には衝撃的だったようで、何度も何度も「足で踏んだんだよ!」と力説してくれました。

また、「猫の手で切ったらお手手を切らないですむんだよ」とそれはそれは得意気に自分の手でうどんを作っていた様子

を事細かに教えてくれて、「今度、お母さんにも作っあげるね!」と。

ふだん割合消極的で慎重派な息子が、とても自信を持っているいるなことに挑戦させて頂いたことがよく伝わって、感無量でした。

3日目は、これもまた生まれて初めての川遊びを息子は心底楽しませて頂たようで、初日に作った水鉄砲で存分に水遊びをしたこと、川はそんなに深くなくて、めちゃくちゃ冷たくはなかったこと、お魚やカニさんはいなかったこと、全身びしょびしょに濡れて靴のまま川に入ったのが本当に面白かったこと、水筒が空っぽになったらポンタリーダーさんがお茶を補充してくださいましたこと、そういえば2日目のバスではアメを買ったよ、そのアメはちょっとしょっぱくて・・・など、3日間の思い出を話し始めたら止まらないという感じで沢山報告をしてくれました。

人間、本当に楽しい思いをしたら、親があればこれ尋問しなくても、こんなに自発的に次から次にいろいろな事を語ってくれるものなのだ!しかも身振り手振りを交えて全身で喜びと楽しさを表現してくれるのだ!と、私も新たな発見がありましたし、息子が心底楽しく思い出深い体験をさせていただいたことがヒシヒシと伝わってきました。

また、私が最も感動したことは、3日間のキャンプを終えて帰ってきたあとの夕食時、ふと息子が、「お母さんの晩御飯、美味しいね。毎日美味しい晩御飯を作ってくれてありがとう!

それから、YMCAのデイキャンプに行くために毎日八戸ノ里まで送ってくれてありがとう。お迎えにも来てくれてありがとう。」と言ってくれたことです。

驚きとともに、たった3日で、これほどにも心身ともにオトナになったと申しますが、成長したなあ実感でき、本当に感激いたしました。

2日目、3日日も、キャンプに行く事を楽しみにしながら参加し、そしてずいぶんと積極的になったように思いますし、また、発言なども、一回りも二回りも大きくお兄さんになったなあと思えました。キャンプに参加して以降、私(母親)や妹に対する思いやりや感謝の発言も幾つか耳にすることがあり、周囲への優しさまでも学ばせて頂いたことに、心底感動いたしました。

このような息子の目に見えるほどの成長ぶりも、ひとえに、YMCAのプログラムの素晴らしさと、そしてそれに関わるスタッフの皆様、実際キャンプに参加して下さったリーダーさん方はじめ参加者のお友達、皆様のすばらしさゆえのおかげだと思っております。本当にありがとうございました。

私達親子は、昨年の5月に大阪に母子だけで避難して参りました。父親は勤めがあるため、福島に一人で残っています。

放射能汚染が深刻な地域であるため、父親とは離れ離れの生活を息子には強いことになり、母子のみでの避難は苦渋の決断だったのですが、日々の生活(母子家庭のような暮らし)を回すのがやっとで、下に1歳の妹もいるため、息子には随分寂しい思いをさせていました。

また、せっかく放射能汚染のない大阪に来て、土日や休日、

息子をどこかに連れて行ってあげる事もできず、今回、純粋に息子のためだけに、息子が楽しんでくれたら、という思いで参加させていただきました。

これほどまでに息子が3日間の連休を満喫できたこと、震災以降、これほどまでに息子が楽しい思いができたことはありません。本当に何とお礼を申し上げて良いかわからないくらいなのです。

母子避難をしてきて1年数ヶ月経ちましたが、これまで大阪でも沢山のありがたいご支援をしていただいたのですが、今回のYMCA様のサンシャインキャンプほど、息子にとっても親の私にとってもありがたいご支援はありません。本当に筆舌に尽くし難いくらいの感謝の気持ちでいっぱいなのです。

また、震災から1年以上が経過してもなお、このような、特に被災、避難している子どもに目を向けてのご支援を続けてくださることも、心底ありがたく嬉しく思います。

とても図々しいお願いですが、いつまで続けなければならないかも見通しが立たない私達親子にとって、今後も継続してご支援くださいましたら、本当にありがたいです。

母子避難者は全国でもかなりの数にのぼっているそうですが、どこのご家庭も、突然母子家庭のような暮らしをすることになり、本当に日々の生活がやっとなで(うちだけかもしれませんが、経済的にも精神的にも・・・)なかなか子どもたちにこのような素晴らしい体験をさせてあげることまで手が回らないと申しますか、本当に、その点について、ご支援くださったことを何度お礼を申し上げても足りないくらいです。

本当にどうもありがとうございました。とても長くなってしまいましたが、サンシャインキャンプの感想文は以上です。乱文お許し下さい。

第38期8月役員会・報告

報告：書記 大谷美佐子

日時：2012年8月23日(木) 19:00~20:30

場所：東YMCA

出席者：宮本・田中・中野・藤井・横田・望月・加藤
佐古・畠平・伊藤・正野・丸尾・岩坂・大谷

9月例会

9月20日(木) サンホーム 18:30~20:30

B班担当

テーマ：「EMC 自己診断プログラムに沿って・・・」

9月例会役割分担

司 会 正野 君
聖句朗読 大谷 君
食事手配 伊藤 君 食前感謝 岩坂 君
ニコニコ 藤井 君 & 大藪メネットさん
受 付 君 会計 中野・藤井 君
音楽担当・会計兼任

10月号ブリテン原稿

月例会報告 大谷 君
月例会にこにこテープ起し 田中 君
役員会報告 大谷 君
Yニュース 杉村 君
サンホームニュース 松野時彦さん
巻頭言 佐古至弘君

原稿締切は 9月 28日です

《審議事項》

1. 9月例会 B班(伊藤班長)
2. 10月例会に関して 担当 C班(丸尾班長・中野・横田・岩坂・畠平・青野)
10月はゲストスピーカーの月
ゲストスピーカー 富士XEROX大阪CSR
活動 石黒 修(イシグロ オサミ)氏
3. 国際憲法改正についての投票に関して(宮本)
改正に承認、会長が投票する。
4. スペシャルオリンピックス ボランティア派遣
について (宮本)
2012年11月3日(土)近畿ブロック大会 於;
桃山大学
ボランティア協力の要請 例会時回覧にて募る。
5. ジャガイモファンドについて (望月)
・ジャガイモ@1700円(男爵)
目標 550個
・かぼちゃ@2600円 目標 50個
納涼例会にて各自の購入個数注文するようにする。
6. クリスマス例会企画案 (田中)
12月16日(日) 会費12,000円 参加
者仮登録 9月例会まで
ブリテン9月報に囲みで掲載。
7. 第38期予算案について (中野)
予算案通り承認される。
8. その他
9月役員会にてDBC締結に向けての審議を
要請。交流事業とEMC事業を進める。
候補クラブを事前に考えて欲しい。

《報告事項》

1. 東YMCAクリスマス会 12月2日(日)
準備委員会にワイズの参加報告
8月10日13:00~ 出席者 畠平
新本メンを窓口とし要請があれば協力する。
次回会議 9月10日(月)
19:00~20:00

《連絡事項》

1. 阪和部部会
9月22日[土・祝日] 9月6日(木)最終打ち合
わせ 19:00
2. 「メネットの集い」
9月1日(土) 南YMCA
参加者：メネット 丸尾・正野・伊藤・望月
新本・初田
メン 正野・丸尾・横田・望月
2. 六甲ワークキャンプ 9月22日~23日
3. 大阪YMCAチャリティーラン第2回実行委員会
8月31日(金)19:00~20:30
参加者 宮本・正野
4. チャリティーラン参加チーム締切 9月14日
2チームの予算計上(サンホーム&ウエルネス)
5. 阪和部前期部費納入
期限8月31日 未までに振込予定。
西日本区会費と安全の日支援金 8月15日
振込済み
6. 中西部YYフォーラム
9月1日(土) 大阪YMCA 302研修室
7. NPO法人「輪」 遠足に協力要請あり...
10月20日(土) 京都水族館 バス2台

以上



ノンバーバルでロシアを闊歩 友愛がつかない訪露への旅

ノルウェーからロシアへ

今回の旅はスタンバルゲン国際大会に参加した後に、美しいフィヨルドの町ベルゲンに寄り道することから始まりました。私にとって大切であり重要なことはロシア区を訪問することでした。それは河内クラブとIBCを結んでいるサントペテルスブルグ部のオゼルキ・クラブを尋ね、友好を深めて来なさいと我がクラブの伊藤さんから命令が下されていました。加えて、横浜での国際大会のとき、ロシアから大挙訪日されたメンバーの内、エカテリングから来られた人達7人を我が家でホームステイをお受けしたこともあり、足を延ばしてエカテリンに立ち寄り寄る事を決めていました。後で分ったことですが、サントペテルスブルグとエカテリングとの間は遠く、飛行機で2時間以上かかります。詳しく調べずに無謀な計画を立てたものでした。しかも私は英語を話せない、聞き取れない。夫婦のみでのチャレンジとなったわけです。綿密に計画を立てていたとすれば、間違いなくこの旅は実現しなかったことでしょう。

入国ビザ取得へのハードル

ロシアに入国するには、ビザが必要です。旅行社(トラベルファイブ)に問い合わせると簡単です、との返事が返ってきました。暫くしてから「日本国内でロシアのホテルを手配すれば簡単ですがホームステイではビザが下りません」とのこと。えらいことがおきました。慌てて、IBCのオルガさんに連絡を取り、招請状をお願いしました。早々にオルガさんより招請状が届きました。「コレニテー件着落！」と安堵しました。そして念のため、それをPDFファイルにして旅行社にメールして確認をしましたところ、ロシア旅行専門の旅行社から「ダメ」ですと、つれない回答がありました。困り果てて、ホームページでロシア大使館を閲覧しました。難しい事柄が羅列してありましたが、「ヤルシカナイ」と決めてビザ申請書に記名し、日程表を作成したり、カード会社から旅行保険の契約内容を取り寄せたりと、準備を整え、千里が丘のロシア大使館にアドバイスを受けようと思ってきました。車の渋滞もあり大使館を探すのに時間が掛かり着いたのは閉館間際でした。それが幸いし申請者も少なく丁寧に應對してくれました。應對してくれた人はロシア人ですが、日本語が上手で助かりました。日本人旅行者には難しい制約も無く、用意していった資料を見

せることなく、ビザ申請書のスペル間違いを直した程度で、申請書を受理してくれました。思わず嬉しくて「やった！」のポーズが出てしまいました。

スタハングル国際大会

いきなりロシア訪問への事から書き出してしまいましたが、国際大会への参加が主題であります。厳肅な開会式は東日本区の青木様の通訳でレシーバーを通し楽しく体感しました。毎回大会の通訳を青木様がされますが、このお喋りを聞くのが楽しみの一つです。形どおりの通訳と違い、用語の説明、解説から、ご自分の感想等があり、面白く興味深く過ごすことができました。2日目は少しエスケープして、4時から始まる地元ワイズメンの一般家庭に招待していただくプログラムに参加しました。3日目はエリア会議がり、アジアエリアの会議を傍聴しました。この時も通訳が入り、東日本区の林様の通訳はご自身の感想から、会議の進め方とか、この人の英語は分りにくいか、解説が入り退屈な会議を面白く聞くことが出来ました。毎回ボランティアで通訳を引き受ける方々に感謝しています。

最終日の閉会式は予定より大幅に早く終わり、4日間の国際大会も早くも終了となりました。国際大会に出席することは、日本から出席した人と仲良くなり友情がグット深まります。日本区大会に出席すると阪和部の人達と話し合いを致します。部会に出席すると自分のクラブの人と親密になります。それが私のそれぞれの大会に期待することの一つであり、持論でもあります。国際大会だからとて、取り立てて外国の人と話さなくても良いと思っていました。しかし、今回は様子が変わりました。我が家にホームステイした、ロシアのエカテリングクラブの人達との再会で友情を更に確かめることが出来ました。私も少し国際人になったのかも知れません。

オルガさんとの再会

大会参加のツアーから離れ、夫婦のみの不安一杯の旅の始まりです。フランクフルトからサントペテルブルグに向かいました。飛行機は大変順調に飛び立ち、サントペテルブルグに到着、ここまで来ると日本人らしき人も無く不安になって来ます。飛行機は到着しシートベルトを外し立ち上がり、今や遅しとドアの開くのを待っていますが列が動きません。アナウンスはドイツ語、フランス語、ロシア語、そして英語、英語のアナウンスらしきものを理解しようと思いましたが分かりません。言葉のニュアンスから入国審査が混雑しているようだと判断しましたが、空港にはオルガさんが出迎えに来てはいるはずで、気



が気ではありません。オルガさんが我々は乗り遅れたと思いついてしまったらと心配になって来ました。30分程でドアが開き飛行機からバスに乗り入国審査室へ、そこはアナウンスのとおり人、人、人で混雑していました。どの列に並べばよいか分かりません、焦る気持ちが先にたちましたが右か左の端だろうと並びました。ようやくの事でトランクも取りロシアに入りました。そこにはあのオルガさんの姿があり、緊張していた気持ち一気に解き離れ、安心しました。

オルガさんのお宅に

飛行場からオルガさんの車に乗り、普段は30分ぐらいのところですが、あいにくラッシュアワーと重なり1時間ぐらしかかりました。そこは郊外の住宅街で、同じ様な建物が立ち並んでいます。道路は広く街路樹も整然と植えられています。日本と違うところは、どこまでもフラットであり、山が見えません。オルガさんの家はその街の一角にある20階建て建物で14階にあります。

眺めは良くそのベランダからは海が見えます。住宅地区は住居専用地区になり、その上寒さのためか、空気が澄んでいるように思われます。日本の部屋に比べると天井が高く、開放的になります。オルガさんの息子さんはサマーキャンプに参加していて丁度部屋があてていました。そこで、息子さんの部屋を使わせて頂くことになりました。部屋は広く息子さんのベッドとソファベットを使いました。

オルガさんの手料理で夕食を頂きました。特に親しい友人も招いて5人の食事会となりました。作っていただいたデザートケーキは今までにない食感で日本的な味がよく、「何でお作りですか」とお聞きしましたが、普通のメリケン粉ではないことが分かりましたがそれが何かは謎のままでした。

疲れもあって、早々にお休みさせて頂きました。空気も良く、静かだったのでグッスリ眠りました。

サンクトペテルブルグの街に

オルガさん宅から地下鉄の駅までは自動車で行き、そこからは地下鉄に乗ることになりました。長いエスカレータに乗り、地下のプラットホームに着きました。サンクトペテルブルグの地下鉄は地中深くを走っていることを実感しました。僅か1駅でしたが、切符(コイン)の購入から、使用方法まで、体験させて頂きました。ルーブル(お金)はオルガさんに出して頂いたのですが嬉しい体験でした。地下鉄の駅を出て、観光名所である繁華街と教会を徒歩で見て歩き、一寸疲れたところで彼女のお気に入りのティールームでお茶とケーキを頂きました。そこは3階の広いベランダで花が一杯あり眺めも良く心が安らぎました。頭上には電気ストーブ付けてあり、やはりサンクトペテルブルグは寒い処です。今頃の大阪は蒸し暑いことでしょうね。又見物をしながら、オゼルククラブのメンバーが集うレストランに向かいました。

オゼルク・クラブの皆さんと(サンクトペテルブルグ部ロシア区)

日本からIBCクラブの使者?としてきたので、午後のひと時を時間の空いているメンバーとレストランに集まり一緒

に食事をする事になりました。それぞれのメンバーが集まり総勢7名になりプレゼント交換とお喋り、このときほど言葉の大切さが身にしみたことはありません。互いに簡単な単語を探しながら何となく分ったような、分らないような、中途半端なときが流れました。食事も終わり皆で街をそぞろ歩き、家内とメネットさんと腕を組んで仲良く散歩を楽しんでいます。言葉が無くても友情は生まれるように思います。

ロシア、エカテリング クラブ

ロシアを訪問する一番の楽しみは横浜国際大会の折、我が家でホームステイをした、エカテリングクラブの7人に再会することでした。しかし、彼らは大会の後、IBCを組んでいるノルウェーのクラブと北欧への旅に発ち、エカテリングに帰国するのは8月12日の午後です。私がロシア(エカテリン)を離れるのが12日の午前5時ですから悲劇のすれ違いです。しかし、大会会場で何度も友好を深める時間がありました。食事会の時に一緒に席になるときもあり、ロシアブースの売店で一緒に写真を撮り、プレゼント交換をしました。その時、横田さんから預かった子供達の画いた絵(横浜大会での忘れ物)を渡したりしました。

彼女達は踊りが上手で(河内クラブでも披露してくれましたが)その踊りを国際大会の大舞台でも繰り広げ多くの喝采を浴びました。楽しく踊り、見る人を明るく魅了する原動力はエカテリングに在るように感じました。



エカテリングの街角、ロシア料理をいただきました
世代を超えた交流も活発でした



今月の強調月間メッセージ

9月 “Menettes”

各クラブ役員は例会にメネットを誘いましょう。
Have Fun With Menettes (メネットと共に楽しく)

野村靖子 メネット事業主任(名古屋東海)



元気に。みんなで。
～10年後の阪和部へ。つながる。～



ユースリーダーとつくる

阪和部会

日時：平成24年9月22日(土・祝)

13:30～16:30

受付開始 13:00～

場所：たかつガーデン

大阪市天王寺区東高津町7-11

登録費：4000円

阪和部長 正野忠之

実行委員長 畠平剛志

Happy Birthday

9月1日 畠平明子 (乙女座)

9月2日 田中加代子 (乙女座)

9月3日 杉村 徹 (乙女座)

9月13日 岩坂千種 (乙女座)

9月27日 芳澤伸之 (天秤座)

9月30日 新本英二 (天秤座)

Wedding Anniversary

今月は該当者がございません

第38期 2012/2013年 クラブ役員

会長・宮本 桂子	Yサ・ASF・畠平 剛志
副会長・畠平 剛志	地域奉仕・芳澤 伸之
直前会長・横田 憲子	EMC・大谷美佐子
書記・田中 惟介	ファンド・佐古 至弘
大谷美佐子	交流・岩坂 正雄
会計・中野 義彦	広報・伊藤 圭介
藤井 敬子	メネット・丸尾 初子
連絡主事・杉村 徹	会計監査・岩坂 正雄

会員数	19名
(特別メネット会員数)	1名
8月例会 会員出席者	12名
メイクアップ	2名
8月の出席率	73.7%
ゲスト・ピジター出席数	9名
メネット・コメット出席数	9名
例会出席者総数	30名
役員会出席者数	14名
8月延べ出席者	47名
8月ニコニコファンド	0円
同 今期累計	20,900円

2012 9 Sep. >> 10 Oct. スケジュール

- 9月 1日(土)・阪和部メネットの集い
11:00～14:00
大阪南YMCA 会費¥1000
- 9月 6日(木)・クラブ第2例会 19:00～21:00
東YMCA
- 9月 8日(土)・六甲部部会 13:00
ホテル竹園芦屋
会費：¥8,000
- 9月 9日(日)・京都部部会 15:00
イエスティン都H京都
会費：¥10,000
- 9月15日(土)・中西部部部会 14:00
ホテルグランピア大阪
会費：¥6,000
- 9月20日(木)・クラブ第1例会 18:30～ 20:30
大阪東YMCA
- 9月22日(土)・阪和部部会 13:30～16:30
たかつガーデン
会費；¥4,000
- 9月27日(木)・クラブ役員会 19:00～21:00
大阪東YMCA 6階
- 9月29日(土)・西中国部部会 13:00～
広島YMCA
会費¥7000
- 10月4日(木)・クラブ第2例会 19:00～21:00
東YMCA
- 10月18日(木)・クラブ第一例会 18:30～20:30
大阪東YMCA 6階
- 10月20日(土)・NPO「輪」遠足支援
京都水族館
- 10月25日(木)・クラブ役員会 19:00～21:00
東YMCA
- 10月27日(土)・サンホーム「なごみ」

発行者：宮本桂子 編集者：丸尾欽造
HP : <http://kawachi-ys.org/>